

信州大学医学部附属病院 脳神経外科に
通院・入院された患者様のご遺族の方へ 当科における臨床研究にご協
力をお願いいたします。

2022年11月8日

「脊髄硬膜の形態の観察」に関する臨床研究(後ろ向き観察研究)を実施しております。

信州大学医学部医倫理審査委員会の審査による医学部長の承認を得て、調査を行っています。このような研究は、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされています。

倫理審査承認番号	4899
課題名	脊髄手術の安全性を高めるための脊髄硬膜の形態の観察
研究機関	信州大学医学部
研究責任者	信州大学医学部附属病院 脳神経外科 伊東 清志
研究実施期間	倫理委員会承認日～2023年12月21日
研究の意義、目的	脳表へモジデリン沈着症の手術方法の安全性、治療効果を高めるため、 脊髄硬膜を組織学的に検討する研究
対象患者様	2000年8月1日～2022年12月20日の期間に当院で 病理解剖、系統解剖を受けられた方。
利用する検体	硬膜
他機関から試料・情報 の提供を受ける 方法	新潟大学脳研究所より過去の脳表へモジデリン沈着症症例の 硬膜の提供を受ける。
研究方法	取得した試料を、外傷などにより生じる硬膜の欠損からの出血が 原因であると考えられている「脳表へモジデリン沈着症」の病態の 解明に役立てます。
協力機関名	新潟大学(責任者:柿田 明美)
その他	この研究において企業との利害関係は、ありません。

既存の検体と診療記録、検査結果を研究、調査、集計しますので、新たな診察や検査、検体の採取の必要はありません。

当院外へお名前や個人情報がでることはありません。

必要な情報のみを集計します。研究成果は今後の医学の発展に役立つように学会や学術雑誌で発表しますが、患者様を特定できる個人情報は利用しません。

患者様を直接特定できる個人情報を削除した上で提供された試料・情報等を利用します。研究成果は今後の医学の発展に役立つように学会や学術雑誌などで発表しますが、その際も患者様を特定できる個人情報は利用しません。

この研究にご自分の診療記録等を利用することをご了解いただけない場合、またご不明な点については、下記のお問い合わせ先までご連絡くださいますようお願いいたします。

ご自分の診療記録等の利用をお断りになっても、通常の診療などで不利益を受けることはありません。上記の研究期間中であれば、いつでもお断りいただけます。

お問い合わせ先: 信州大学医学部附属病院

担当者 脳神経外科 伊東 清志 (電話番号: 0263-37-2829)